

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【公表番号】特表2014-513191(P2014-513191A)

【公表日】平成26年5月29日(2014.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-028

【出願番号】特願2014-509713(P2014-509713)

【国際特許分類】

C 08 L	77/00	(2006.01)
C 08 K	5/5399	(2006.01)
C 08 K	5/5313	(2006.01)
C 08 K	5/49	(2006.01)
C 08 K	7/14	(2006.01)

【F I】

C 08 L	77/00
C 08 K	5/5399
C 08 K	5/5313
C 08 K	5/49
C 08 K	7/14

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱可塑性成形材料であつて、

a) 成分Aとしての、少なくとも1つの脂肪族ポリアミドまたはコポリアミド45~87質量%、

b) 成分Bとしての、少なくとも3個のフェノキシホスファゼン単位を有する、少なくとも1つの環状フェノキシホスファゼン2~10質量%、

c) 成分Cとしての、少なくとも1つの(ジ)ホスフィネート塩8~17質量%、

d) 成分Dとしてのメラミンポリホスフェート1~15質量%、

e) 成分Eとしてのホウ酸亜鉛0.1~5質量%、

f) 成分Fとしての、少なくとも1つの耐衝撃性を改良するポリマー0~20質量%、

g) 成分Gとしての、ガラス纖維0~50質量%、

h) 成分Hとしてのさらなる添加剤0~30質量%

からなり、

その際に成分A~Hの全体量は、100質量%である、前記熱可塑性成形材料。

【請求項2】

成分Aがポリアミド-6、ポリアミド-66またはこれらのコポリアミドもしくは配合物であることを特徴とする、請求項1記載の熱可塑性成形材料。

【請求項3】

成分Bが3個のフェノキシホスファゼン単位を有する環状フェノキシホスファゼンと4個のフェノキシホスファゼン単位を有する環状フェノキシホスファゼンとの混合物であることを特徴とする、請求項1または2記載の熱可塑性成形材料。

**【請求項 4】**

成分 G として、ガラス纖維 5 ~ 50 質量 % が存在することを特徴とする、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料。

**【請求項 5】**

成分 F として、エチレンとアクリレート、アクリル酸および / または無水マレイン酸とのコポリマーが使用されることを特徴とする、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料。

**【請求項 6】**

成分 C として、少なくとも 1 つのアルミニウムジアルキルホスフィネートが使用されることを特徴とする、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料。

**【請求項 7】**

成分 B ~ E の全体量が 10 ~ 40 質量 % であることを特徴とする、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料。

**【請求項 8】**

請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料を製造する方法であって、成分 A ~ H を混合する、前記方法。

**【請求項 9】**

請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料からの成形体、纖維またはシート。